

令和3年度 観光資源魅力アップ事業に係る国内富裕層の実態調査業務委託 特定結果

「令和3年度 観光資源魅力アップ事業に係る国内富裕層の実態調査業務委託」業について、公募型プロポーザル方式で、受託候補者を特定しました。

1 件名

令和3年度 観光資源魅力アップ事業に係る国内富裕層の実態調査業務委託

2 委託内容

- (1) 富裕層の旅行目的、求める資源、旅行における消費傾向、その他商品として販売していくにあたり必要な項目（手配形態等）の調査・分析・考察
- (2) 実施報告書の作成

3 受託候補者

株式会社サーベイリサーチセンター

4 評価結果

提案者	評価点数	順位
株式会社サーベイリサーチセンター	406点	1
株式会社角川アスキー総合研究所	350点	2
株式会社 JTB 総合研究所	278点	3
日本航空株式会社	275点	4

5 評価基準・評価委員会開催概要

○評価基準

別紙参照

○委員会開催日時及び開催場所

令和3年6月29日(火) 10時から13時

当財団会議室

令和3年度 観光資源魅力アップ事業に係る国内富裕層の実態調査業務委託 提案書評価基準

1 評価方法

- (1)出席した評価委員(以下「評価委員」という)は、各評価項目について、配点により6段階評価を行う。
 (2)提案書に評価項目に該当する記載がない場合は0点とする。
 (3)評価委員の過半数が0点と採点した評価項目がある場合には、そのプロポーザルは特定されない。
 (4)提案者が1社の場合、6割以上の得点をもって特定とする。

2 評価項目

評価項目		評価の視点	配点
業務に対する理解	(1) 業務に対する理解度	本業務の目的及びターゲットに対する理解や事業実施方針が適切か。	20
提案内容について	(1) 富裕層情報・データの収集	事業の目的に沿った富裕層顧客のデータの収集方法が有効であるか。 統計的に説明のつくサンプル数の収集方法であるか。	25
	(2) 調査分析	調査手法や分析の精度について期待できるか。 ・分析に必要な調査手法や考え方、調査項目が妥当であるか ・収集した国内富裕層データの分析及び考察	30
事業者の実施体制について	(1) 類似事業実績	本業務を実施するにあたり、過去に他自治体等で類似の調査業務の実績があり、ノウハウを活かすことができるか。 ・過去事例で、既に有しているデータや情報がある場合は、活かした提案となっているか	15
	(2) 実施体制の確実性	調査設計及び集計までの具体的な実施計画、業務を確実に実施できる体制となっているか。	10
合計			100